

学びの場は「子育て家庭」 大学生生活だけでは出会えない人達と出会おう！

子育て家庭訪問インターンシップ 実施中の内容

モデルプラン
1日目
(金曜日)

目標
子育て家庭の平日の日常を体験する

- 16:45 受入家庭のご家族と合流
- 17:00 お子様のお迎えに同行
(保育園や児童クラブなど)
- 17:30~ 夕食の準備・共に夕食
団らん&子どもたちと遊び
- 20:00 終了

モデルプラン
2日目
(土曜日)

目標
子育て家庭の休日の日常を体験する
仕事と家庭の両立についてインタビューする

- 13:00 受入家庭に訪問
団らん&子どもたちと遊び
- 14:00 ご家族にインタビュー
- 16:00 終了



「子育て家庭訪問インターンシップ」とは？

学生が子育て家庭を訪問し、仕事と家庭の両立の実際を経験するプログラムです。このプログラムで得られる学びから、学生が今後のキャリア形成における「ワーク」と「ライフ」のバランスについての展望を持つことを目標としています。

受入先の「子育て家庭」とは？

松山市近郊の企業にて、社内の子育て支援制度を利用しながら勤務する20代～40代のご家庭です。共働きや育児休業中の方など、環境は様々で、子どもの年齢層は0歳～小学校高学年です。子育て家庭訪問インターンシップを通して、あなたに学びや気づきを教えてくれる人生の先輩です。



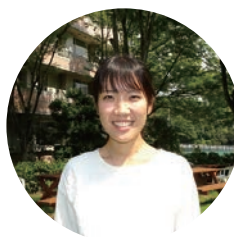
昨年参加した先輩の声

「子育て家庭訪問インターンシップ」に参加してみてどうでしたか？



松山東雲女子大学
人文科学部 心理子ども学科
子ども専攻 (2017年度卒業)
梅岡 真衣 さん

愛媛県で働き、生活したいとずっと思っていました。このプログラムに参加して、その気持ちが強くなり、困った時に助けてくれる存在の親が近くにいる環境が大事だと思いました。また、女性でも仕事をするのが当然になってきたからこそ、夫婦での協力も大切だと思いました。良い方向に様々なことを実現するためには、ワークライフバランスが重要だと分かりました。



松山東雲女子大学
人文科学部 心理子ども学科
子ども専攻 (2017年度卒業)
菊池 愛 さん

これまでの保育園・幼稚園の実習では、家庭での子どもの姿を見る機会はありませんでした。今回、伸び伸びとした子どもたちの姿を見ることができ、私も保育士として、子どもたちの安心できる環境を作りたいと思いました。また、漠然としていた将来像が、ご夫婦の姿を見ることで「夫婦で協力し合っずと仕事を続けたい」という理想像へと変わりました。

万が一に備えて ①団体総合生活補償保険 ②賠償責任保険に加入して実施しますので、安心してご参加いただけます。

お問い合わせ先

【主催】松山東雲女子大学・松山東雲短期大学
「地方における女性のワークライフバランス」プロジェクトチーム



COC+研究室 担当：藤村
TEL：089-931-6211 (代)
E-MAIL：fuji17@shinonome.ac.jp
〒790-8531 愛媛県松山市桑原3丁目2-1

<http://cocpulus.shinonome.ac.jp/blog/> (活動内容随時更新中！)

お申し込み先

参加のお申し込みはメールで お申し込みフォーム↓

✉ info@worcolla.com

入力必須項目：①大学名、②学部学科、③学年、④氏名、⑤希望のプログラム (今回は「子育て家庭訪問インターンシップ」と入力)、⑥メールアドレス、⑦電話番号



WORK LIFE [委託先] 特定非営利活動法人ワークライフ・コロボ
〒790-0806 愛媛県松山市緑町1丁目2-1 和光会館
COLLABO TEL: 089-904-1572 www.worcolla.com